

# 中国景気概況(2022年11月)

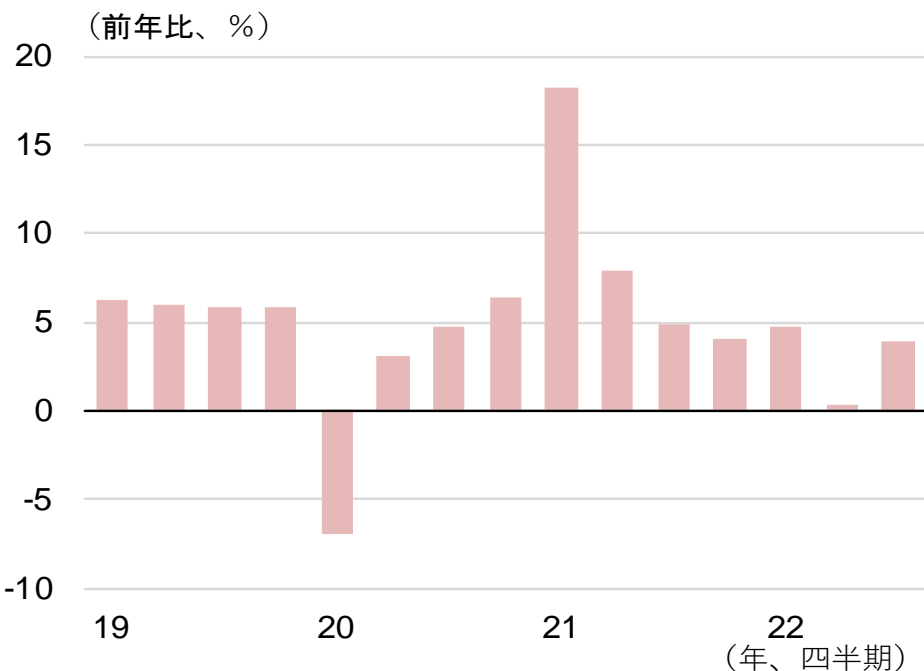
2022年11月2日

調査部 研究員 丸山 健太

# 景気は減速、PMIも低下

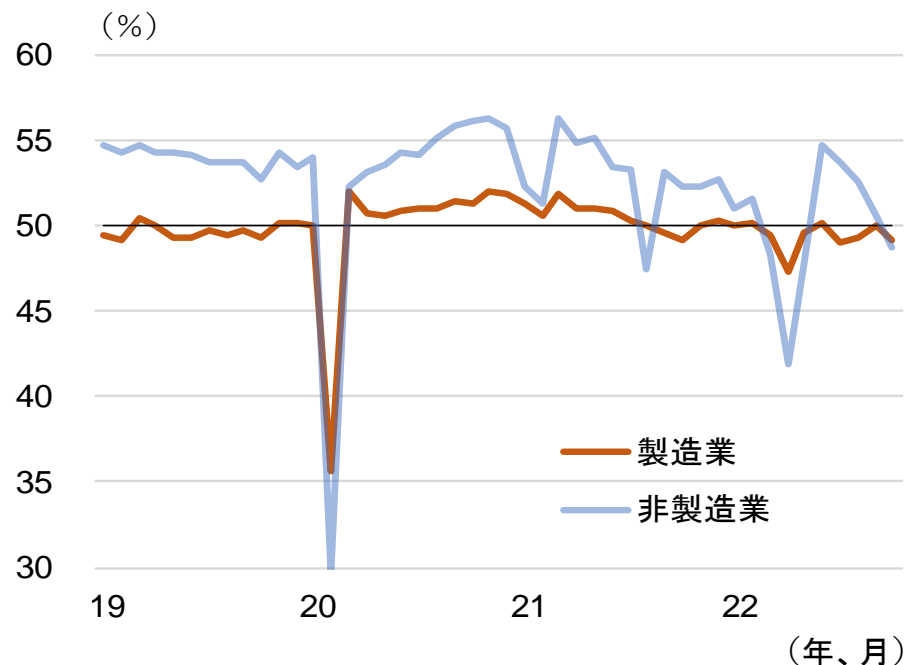
中国景気は減速している。2022年第3四半期の実質GDP成長率は前年比+3.9%と、前期に実施された上海ロックダウンの影響が剥落し、伸びが拡大した。もっとも、ゼロコロナ政策の継続や不動産業の低迷が中国経済を下押ししている。10月のPMIは、製造業、非製造業とも低下し、いずれも好不況の境目の50を下回った。特に、非製造業は10月第1週の国慶節休暇での人出回復が期待外れに終わり、飲食など接触型サービスを中心に落ち込みが大きかった。

### 実質GDP(四半期)



(出所) 国家統計局

### PMI



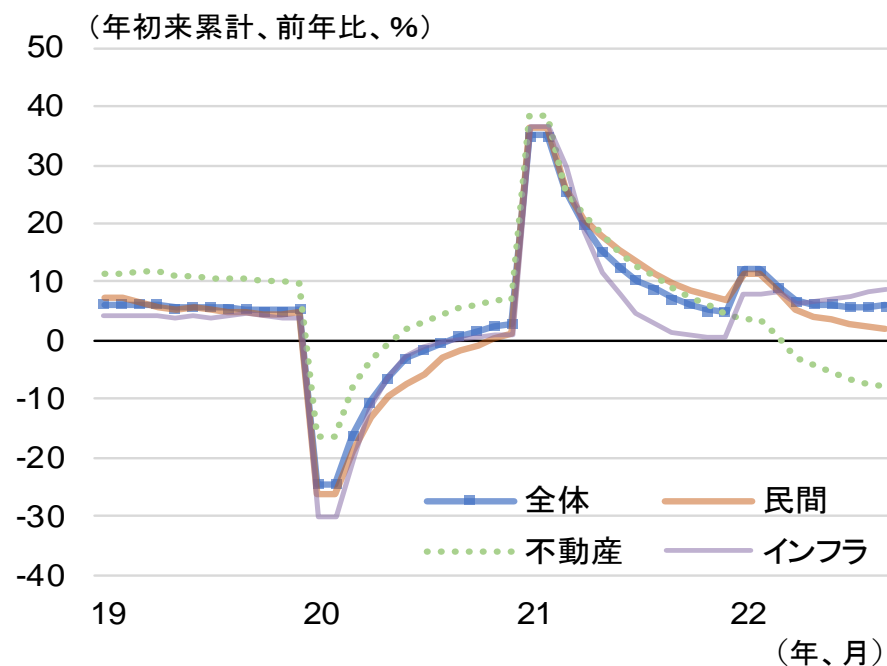
(出所) 国家統計局

# 固定資産投資、生産とも増加幅拡大

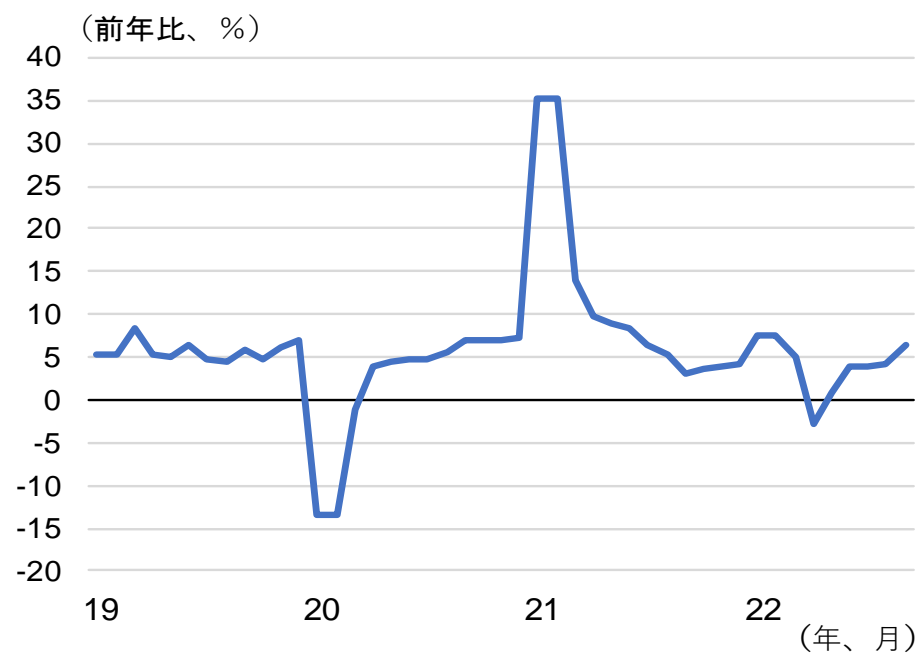
9月の固定資産投資(年初来累計値)は前年比+5.9%と、増加幅がわずかに拡大した。不動産投資は規制強化を背景に6ヶ月連続で前年割れとなったが、政府の景気下支え策によりインフラ投資が全体を押し上げた。

9月の工業生産は、前年比+6.3%と増加幅が拡大した。上海ロックダウンでの落ち込みからの挽回生産が続く自動車や電気機械の増加が大きかった。地域別にみると、前月に電力不足で前年割れした四川省や重慶市ではプラスに回復した。

## 固定資産投資



## 工業生産



# 消費は持ち直しが一服、物価は上昇幅拡大

9月の小売売上高(名目)は前年比+2.5%と増加幅が縮小した。自動車の販売は、上海ロックダウンでの落ち込みからの挽回に加え、減税などの政策支援を追い風に増加が続いたが、飲食サービス消費が感染再拡大を受け2ヶ月ぶりに前年割れに転じたほか、低調な住宅需要を背景に家具や家電、リフォーム関連の消費が減少した。

9月の消費者物価上昇率は前年比+2.8%と上昇幅が拡大した。豚肉など食品価格の上昇が全体を押し上げた。

## 小売売上高(名目)



(出所) 国家統計局

## 消費者物価指数

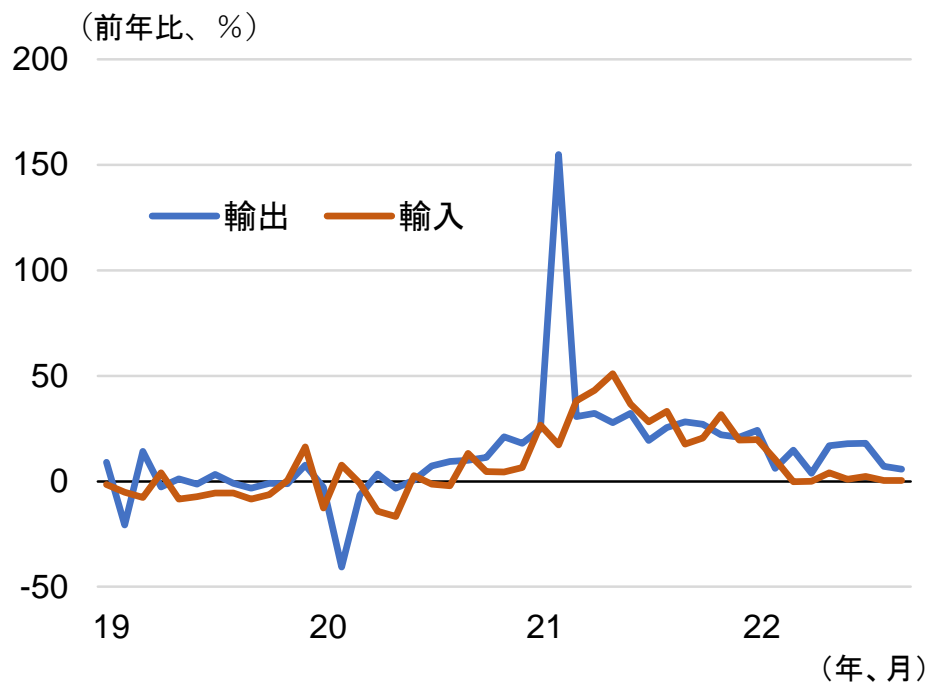


(出所) 国家統計局

## 輸出、輸入とも小幅増加

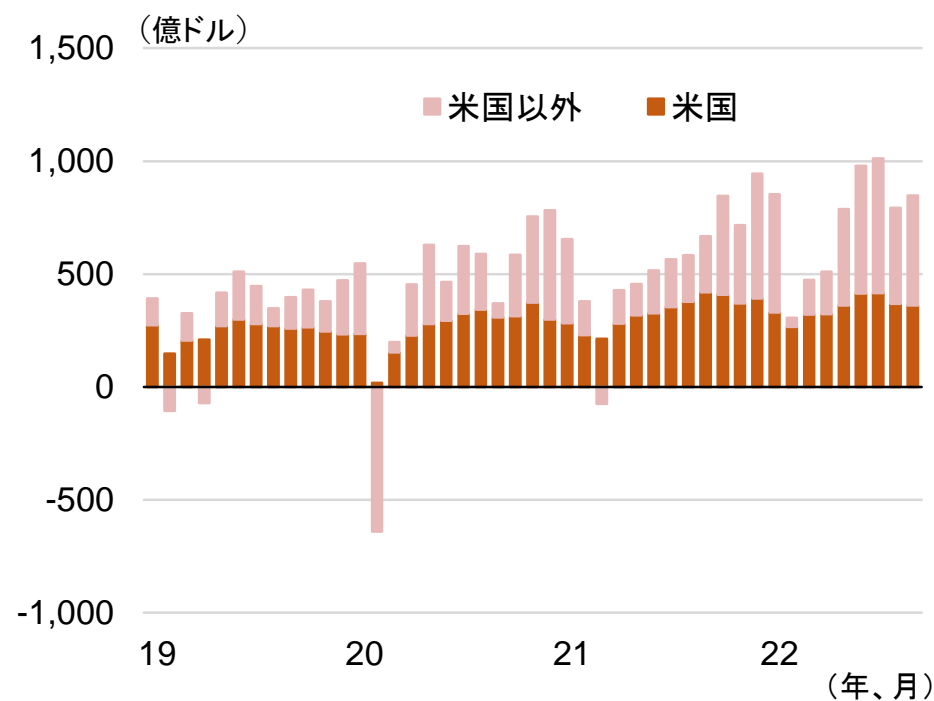
9月の輸出は前年比+5.7%、輸入は同+0.3%といずれも増加は小幅にとどまった。貿易黒字は847億ドルと、前年同月(668億ドル)から拡大した。輸出は、ASEAN向けで前年比3割近い増加が続いた一方、ウエイトの大きい米国向けは2ヶ月連続で前年割れとなった。また輸入は、内需の弱さを反映し、集積回路など電子部品が大幅に減少した。貿易収支は、対ASEANの黒字幅拡大が大きかったものの、対米黒字は縮小した。

### 財輸出入



(出所) 海関総署

### 貿易収支

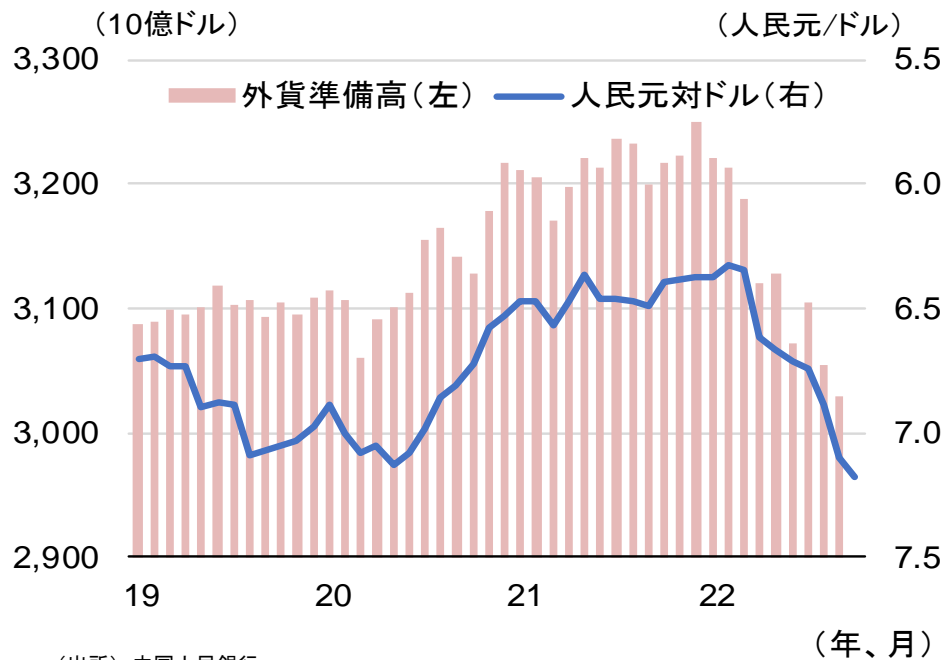


(出所) 海関総署

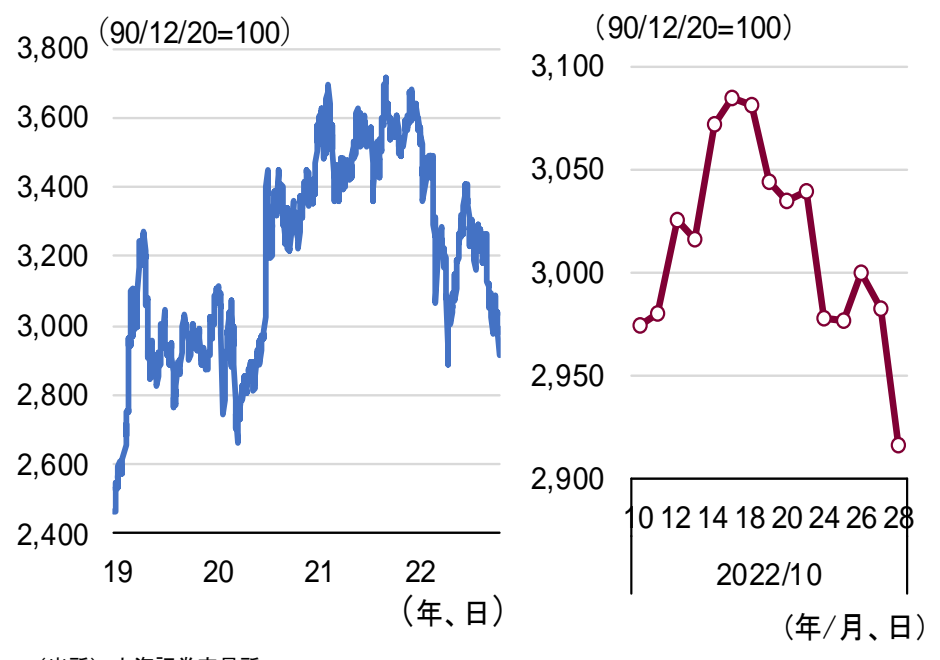
# 為替は元安、株価は上昇後下落

人民元の対ドルレート(10月末値)は1ドル=7.18元と元安が進んだ。共産党大会で決まった新指導部の経済運営への不安から元売りが加速、月後半には2007年12月以来の安値を付けた。9月末の外貨準備高は、3兆290億ドルと減少した。10月の上海総合株価指数は上昇後下落した。月前半はインフレ懸念の後退から株価は上昇したが、月中旬開催の共産党大会で明確となった習近平氏への過度な権力集中と改革開放路線後退への懸念から、月末にかけて下落した。

### 外貨準備高



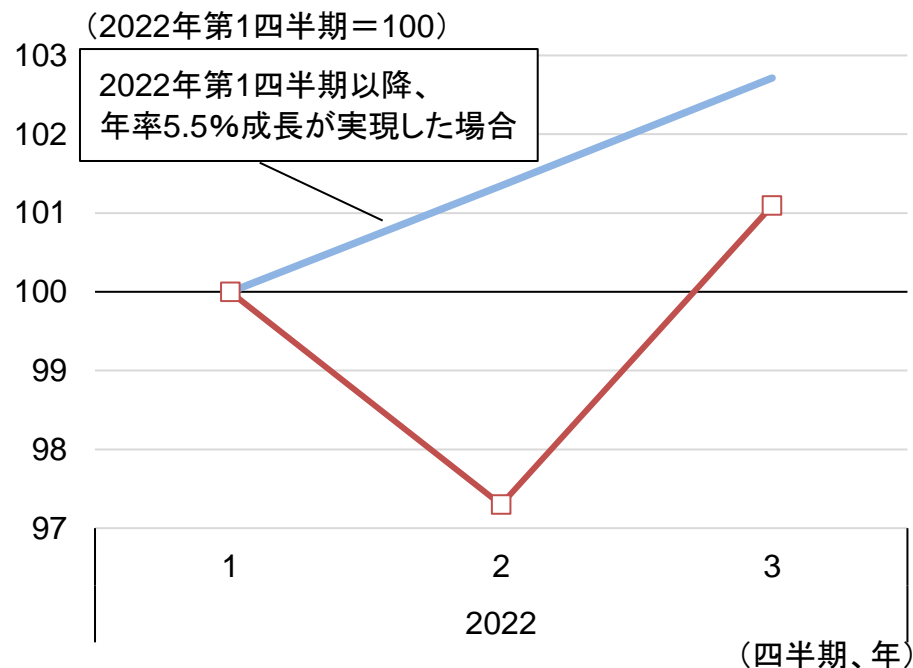
### 上海総合株価指数



# 2022年第3四半期の実質GDP

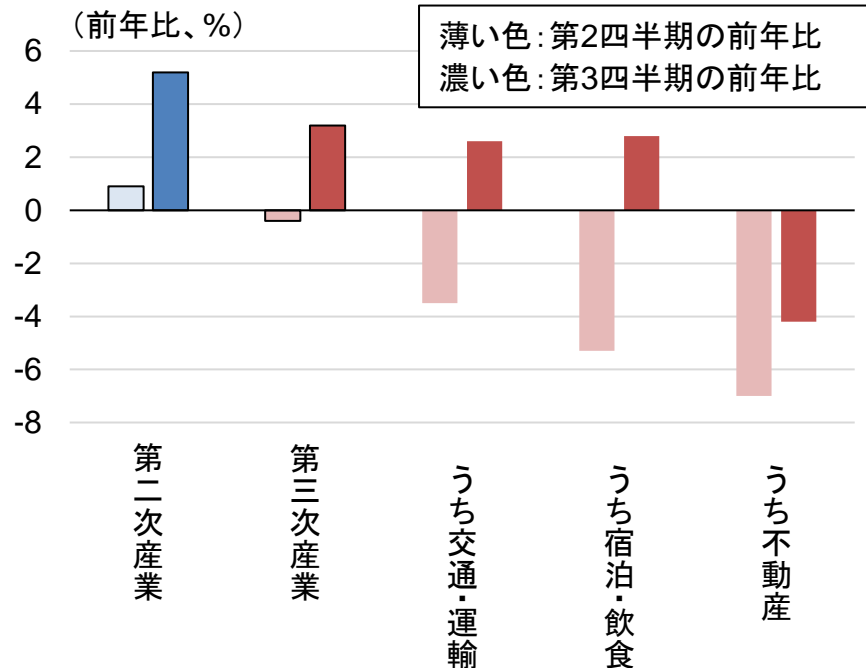
2022年第3四半期の実質GDP成長率は季節調整済み前期比+3.9%と、比較可能な2010年以降で2番目に高い伸びを記録した。もっとも、上海ロックダウンの影響は剥落したが、政府目標の年5.5%の成長軌道回復には至らなかった(左図)。産業別にみると、第二次、第三次産業とも前年比で増加幅が拡大したが、後者の伸びは3%台にとどまった(右図)。特に、前期に大きく落ち込んだ交通・運輸や宿泊・飲食などは前年比プラスを回復したものの、ゼロコロナ政策の継続で増加は小幅にとどまった。また、不動産は関連企業の資金繰り難や需要減少を背景に、5四半期連続で前年割れとなった。

実質GDPの推移(季節調整系列、赤の折れ線)



(出所) 国家統計局

産業別実質GDP(前年比、2022年第2四半期と第3四半期)



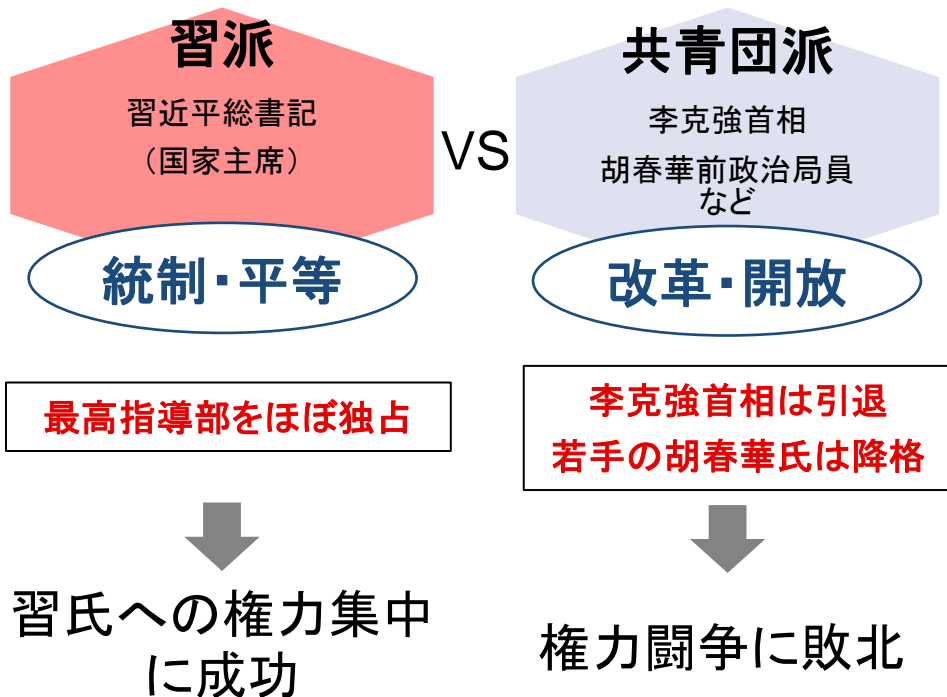
(出所) 国家統計局

# 習近平総書記への権力集中を確認した共産党大会

10月16日から22日にかけて、5年に一度の中国共産党大会が開催された。「2期10年が上限」、「68歳以上は引退」という党の慣例を破り、異例の3期目続投を決めた習近平総書記への権力集中を再確認した大会だった。

習氏への権力集中は、特に人事に表れた。最高指導部の政治局常務委員会は習氏に近い人物が独占し、習派のライバルである共産主義青年団出身者(共青团派)は一人も入らなかった。経済政策を担当する首相には李強氏が就く見込み。新指導部は習氏の意向を反映し、平等重視の「共同富裕」と「ゼロコロナ」を中心に据えた経済運営を行うものとみられる。

## 習派と共青团派の対立



## 中国共産党の新指導部(政治局常務委員)

氏名	新たなポスト	現在のポスト
習近平	党総書記、国家主席	党総書記、国家主席
李強	首相	上海市党委書記
趙樂際	全国人民代表大会常務委員長	中央規律検査委員会書記
王滬寧	中国人民政治協商会議主席	中央書記処書記
蔡奇	党中央書記処書記	北京市党委書記
丁薛祥	筆頭副首相	中央弁公庁主任
李希	中央規律検査委員書記	広東省党委書記

(注) 「新たなポスト」の斜体字は未確定  
(出所) 各種報道より



ご利用に際してのご留意事項を記載していますので、ご参照ください。

(お問い合わせ)調査部 丸山 TEL:03-6733-1630 E-mail:[chosa-report@murc.jp](mailto:chosa-report@murc.jp)

〒105-8501

東京都港区虎ノ門5-11-2 オランダヒルズ森タワー

— ご利用に際して —

- 本資料は、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一的な見解を示すものではありません
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所:三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡ください